

リポートニュース

平成20年4月号 No.71

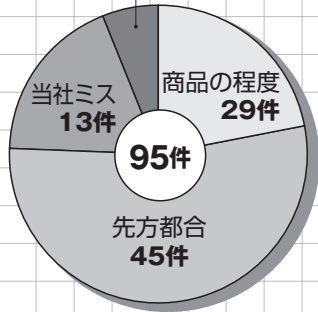
4月初め、UAEのドバイに行ってきました。

日本からコンテナで輸送された自動車中古部品は、ドバイに隣接するシャルジャの工業団地で店を開く500社ほどの部品商の元に届けられます。これらの部品は主にアフリカ諸国・中近東のバイヤーが購入してゆきます。ここで売られる中古部品の90%が日本からの調達で賄われていると聞き、驚きました。

日本人とわかると手を振ってくれたり、日本語で話しかけてくれる親日派のパキスタン商人が多数おりました。

前月のクレーム 集計報告

運送会社ミス 8件



● 自社主力商品別クレーム (輸出販売はノークレームのため対象外です。)

商品別クレーム	件数	クレーム率	内 訳
バンパー	4件	4/1191 0.34%	中央の仕上がりりがぼこぼこしている、ゆがみあり、下地処理が粗い、全体的にサフェあり、手間かかる 各1件
フード	2件	2/440 0.45%	手間がかかる、ラインが合わない 各1件
フェンダー	6件	6/970 0.62%	手間がかかる 2件、ネジ穴切れ、ライン横合わない、ドアと合わせると段差、フードとの取付穴部切れ 各1件
ライト類	15件	15/1890 0.79%	光軸不具合 4件 水もれ・中くもり 3件、モーター故障 2件、補修箇所ヒビ 2件、レベライザー左右動かない、補修跡の見栄えが悪い 各1件、コーティングのむら (レンズ裏側・水滴跡) 2件
計	27件	27/4491 0.60%	

(自社のクレーム発生率0.75%以内を目指しています。)

※確かな部品をお届けするためには、車検証情報と現車の特別仕様情報が必要です。

当社ミスによるクレーム報告

車名・型式・年式	部品名・グレード	クレーム内容	対応
エスティマG R30後期	右ライト・G	ハイビームの入る真中に白く曇り、点灯しているとその曇りが広がる。中汚れとは違うようである。	ハイビーム側のレンズの内側から、レンズが融けていました。はっきりした原因はわかりませんが、ハロゲン球のハイワット使用、又はHIDの色温度の高いものが使用された場合、このような現象が起こります。
アウトランダー CW5W H18.2	Fバンパー ノーマル	現車はフォグ穴の無いタイプであった。	フォグ装着部分に関して、脱着できるフタでフェイス自体は、関係が無いという事で作業を進めていました。今後はフォグの有無を確認します。ディーラーでの調査：新品はめくら状態で出荷。フォグ入りの場合、切って使用。グレートGはフォグ用。
ヴィッツ NCP10 H14.3	右ライト、CLAVIA	前期タイプを後期で出荷してしまった。	SCV10 ヴィッツのFの変わりはH13.12、CLAVIA.RSの変わりはH14.12である事を再確認しました。
ベリーサ DC5W H17.4	左、右ライト HID	バラストが入る三角形の辺の長さが違う現車 <100×100×108> 届いたもの <95×95×95>	今までHIDのライトは種類なしで販売していました。返品後の調査でパーツリストも2種類の表示がありました。今後はバラストの付く所の形状、またカブラのピン数も違っていたので、これらを確認します。

「運送費の値上げ」ブログ

Weblog / 2008年04月16日

リサイクル部品が全国的に流通・普及を遂げた一因として、宅配運送業者の協力が上げられる。

この「協力」の部分であるが・・・当社で扱う外装部品は「カサ」は大きい軽いので、重量物の上に乗せるのにちょうど良い・・・という事で「カサ」については従来の運賃算出基準よりディスカウントされて実際の才数を取り決めていた。

ところが今般のガソリン高騰の煽りで「運賃の見直し」の話し合いが運送会社との間で続いた。・・・運送会社は「運賃表の改訂は据え置きで構わないので、契約通りの才数(カサ)で荷物を引き取らして欲しい」といった要望であった・・・これはまさしく「協力」の領域の部分であった筈である。

4月1日より、若干の調整があったものの正規に近い「カサ(才数)」が適用されることになった。・・・かなりの経費増を覚悟することとなり、どこでこの負担を吸収すれば良いのか・・・目処が付かないまま新年度がスタートした。

豆知識

LEDについて

特徴

白熱電球に比べて寿命が5~6倍長い
電力消費量も8分の1

テールライトの場合

①白熱バルブ、ストラップランプの寿命が約500時間に対して、LEDランプの寿命は6倍の3000時間。ちなみにブレーキランプの平均点灯時間は年200時間程となっている。

②使用電力量は白熱バルブの70Wに対してLEDランプは8.5W

今後一層LED化が促進され、ヘッドライトもLEDが標準化される事が予想されます。

1年間で300万点のリサイクル部品を販売

14万3000トンのCO2削減に貢献しました。

昨年3月から始めたグリーンポイント集計が、今年2月の数字を持って丸1年を経過しました。580企業によってグリーンポイントが集計されております。

日本自動車リサイクル部品販売団体協議会

ドバイ視察 スナップショット



視察団メンバー



特別区の輸入 中古車ヤード



中古部品商のヤードにストックされたエンジン



台湾製部品を運ぶ部品商